平成30年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	老人福祉センター	所在地	伊勢市八日市場町13-1 伊勢市福祉健康センター1階			
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日			
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため					
業務内容	・老人の教養の向上及びレクリエーション等に関すること ・老人の生活及び健康等の相談に関すること ・老人の機能回復訓練実施に関すること ・老人クラブに対する援助等に関すること ・その他老人の福祉増進に必要な事業					
施設概要	本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58 ㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 1階(1718.75㎡) 総合事務室、相談室、ボランティア室、社会適応訓練室、日常 生活訓練室、調理実習室、伊勢市ひまわり、和室、個別指導室 等					
職員体制	センター長 1名(兼務) 事務職員 3	3名				
施設所管課名	高齢者支援課					

2 収支状況

			(A)	(B)	(C)	(単位:円)
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(C-B)
	収	指定管理料	6,749,000	6,749,000	6,749,000	0
		利用料金	0	0	0	0
1_	入	その他	0	0	0	0
事		計(a)	6,749,000	6,749,000	6,749,000	0
業		人件費	4,853,054	5,015,477	5,695,622	680,145
収支	支		1,698,613	1,627,261	1,725,498	98,237
~	出	その他	420,748	101,329	0	△ 101,329
		計(b)	6,972,415	6,744,067	7,421,120	677,053
	収:	支差引額(a)-(b)	△ 223,415	4,933	△ 672,120	△ 677,053

最新年度(C)と前年度(B) に収支の増減があったもの について記載

に収支の増減があったもの支出その他:繰入金、剰余金積み立て支出なしによる減。

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
施設の設置目的達成のために努力した。老人福祉センターの利用者は前年度比較で、1,053人減少した。はつらつ教室の利用者は前年度比較で、286人減少となった。 はつらつ教室に関しては、今後もアンケートや聞き取り調査を行い、ニーズに沿った教室の実施や、人気のある教室の継続開催を行っていきたい。また、新たな利用者が増えるように努めたい。	施設の設置目的を理解し、管理運営については 適正に行われていた。 はつらつ教室の利用者が、若干ではあるが減少傾 向にあるため今後もアンケート等を行い、ニーズに 即した事業展開を心がけ、高齢者の社会参加の促 進、福祉増進に努めることを期待する。

関係法令を遵守していたか。

Α

法令を理解し遵守した。

指定管理業務の項目別評価表

施設名 老人福祉センター 評価 評価項目 指定管理者 市 業務運営項目 評価の基準 判定 判定 評価理由 評価理由 ①施設の目的や基本方針の 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方 施設の設置目的や基本方針を理解し管理運営に努めたと思われ Α 施設の目的や基本方針を理解し管理運営に努めた。 Α 針を理解していたか。 施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達 施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと ②施設設置目的の達成度 Α 高齢者を対象とした教室等開催し施設の目的達成に努めた。 Α 成されたか。 思われる。 はつらつ教室の年間利用者数が、平成29年度の 5,866名から、平 各種教室を企画し目標達成に努めたと思われるが、前年度より若 В В ③利用者数 利用者数は当初の目標を達成したか。 成30年度は 5,580名になり、286名の減少となった。 干利用者数が減少している。 施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、 事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営と思わ 4)運営状況 Α 施設の供用日数・供用時間を守り適切な施設運営に努めた。 Α 適正な施設の運営が行われたか。 職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。す 職員の配置・勤務を適正に行い、 業務執行体制についても作業 ⑤職員の配置状況・勤務実績 た、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明 Α 職員の配置状況・勤務実績は適正であったと思われる。 Α 責任 者、業務担当者等の役割を設定し業務を執行した。 確になっていたか。 管理運営業務全般について、市と指定管理者の 管理運営業務全般において、伊勢市と協議や連絡調整を行いな 運営業務全般において、伊勢市と協議や連絡調整を行いながら業 ⑥意思疎通 Α Α 務を遂行していた。 責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。 がら管理運営をした。 各種業務計画書、点検記録、整備·修繕·事故· ⑦各種管理記録等の整備・保 各種の記録については、適正に整備・保管がなされており、月報・ 故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管さ Α 点検記録、修繕記録等、各種管理記録の整備保管を行った。 Α 年報にて報告がされていた。 れていたか。 地域や地域住民との交流・連携に関する取り組 ボランティアまつりの開催支援や、福祉健康センターフェスティバ イベント開催及び開催支援を行い、地域交流を積極的に実施して ⑧地域の振興 Α Α みを実施し、地域の振興が図れていたか。 ルを実施し地域住民との交流を図った。 いた。 9使用許可等 使用許可等申請が適正に行なわれていたか。 Α 使用申請の提出を施し、適正に受付を行い使用の許可をした。 Α 使用許可等申請の取扱いは適正に行なわれていた。 徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に ⑩利用料金等の徴取状況 Α 利用料の帳簿等を作成し徴収、還付等適正に行った。 Α 帳簿は適正に作成されていた。 行なわれていたか。 個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、適切に行われていた ⑪個人情報 個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。 Α 棚、引出し等を施錠し、個人情報の保管に留意した。 Α と思われる。 12法令遵守 Α 法令違反は見受けられなかった。

指定管理業務の項目別評価表

老人福祉センター 施設名 評価 評価項目 指定管理者 市 業務運営項目 評価理由 評価の基準 判定 評価理由 判定 ①施設利用状況及び利用者 利用者数の増加や利便性を高めるための具体的 はつらつ教室としての工夫を心がけ、福祉健康センターフェスティ Α Α 新たな取り組みを取り入れるなど積極的に事業を行っていた。 な取り組みが行なわれていたか。 バルと共催で作品展を開催し、利用者増加に努めた。 数増加への取り組み 個々のサービスについて、対応職員によって格差 ミーティング等を行い、職員間での情報を共有し利用者への平等 ②利用者の平等な利用 が生じないよう、施設のサービス水準を確保するた Α Α サービス水準については、期待される水準にあった。 なサービス提供に取り組んだ。 めの取り組みを行なったか。 社協だよりに各教室の募集記事の掲載をした。福祉健康センター 全ての利用者が情報を得ることができるよう適切 ③適切な情報提供 Α だよりを年6回発行し公共機関等への配布を行なったり、ホーム Α 適切な利用情報の提供を行っていたと思われる。 な利用情報の提供を行なったか。 ページ等での情報提供を行った。 緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実 緊急時のマニュアルを作成、年2回避難訓練を実施、また職員全 緊急時を想定したマニュアル整備、避難訓練を実施するなど、適 ④非常時·緊急時の対応 Α Α 施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。 員が、AEDの講習を受講し非常時・緊急時の対応に備えた。 切に行われていた。 利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適 利用者からの意見を聞き取り、苦情解決を心がけた。また職員間 利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体 ⑤苦情解決体制及び対応 切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、 Α Α で情報を共有し早期対応や再発防止に心がけた。 制が整っていたと思われる。 苦情に対する対応は適切であったか。 利用者ニーズに即した自主事業が行なわれてい アンケートを行い、利用者からの要望を聞き取り、次年度に開催す ⑥自主事業 Α Α 利用者ニーズに即した自主事業が行われていた。 たか。 る教室を決定した。年度末には作品展と体験発表会を開催した。 事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へ 事業実施後に反省会等を実施し、問題点を話し合い、次年度につ 次年度に向けての見直し等は行っているが、それをどこまで次年 ⑦事業の評価 Α Α つなげる取り組みがなされていたか。 度に反映させるかが課題と思われる。 なげる努力をした。 建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の 設備の定期点検、建物の安全点検を行った。また植栽管理し安 Α ①建物・設備の保守点検 確保、良好な機能及び美観の保持がされていた Α 毎月安全点検等適切に行い、月報にて報告されていた。 全の確保、美観の保持を心掛けた。 備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていた ②備品等の管理 Α 定期的な点検を行い丁寧に扱うことを心掛け保守管理を行った。 Α 破損や紛失がなく、適正に管理されていた。 点検のよって異常が認められた場合は、速やか 異常があった場所の確認や記録をとり伊勢市に報告し速やかに ③修繕業務 こ修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、 Α Α 毎月点検を行い、月報により適切に報告されていた。 修繕を行った。 その内容を記録されていたか。 4)清掃業務 清掃は適切に行なわれていたか。 Α 予定通り点検、測定、清掃を行った。 Α 清掃は適切に行なわれていた。 鍵は所定の場所に保管し、貸出簿の記入を行った。最終退館者が 鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切 防犯に関する問題はなく、鍵の管理及び防犯に対する対策、対応 ⑤防犯体制 Α 退館簿に記入することを徹底した。夜間は業者に委託し防犯対策を Α だったか。 は適切であった。